

# 令和5年度 薩摩川内市職員募集

採用予定日：令和6年4月1日

受付期間

【直接・郵送(消印有効)】

令和5年7月12日(水)～令和5年8月10日(木)

【インターネット申込】

令和5年7月12日(水)～令和5年8月8日(火)

職種	区分	年齢要件	主な受験資格など	人員
一般事務	上級職	27歳以下	・大学卒業または卒業見込みの者(以下、上級職同様)	10人程度
	初級職	23歳以下	・高等学校卒業または卒業見込みの者(以下、初級職同様)	
一般事務【社会人枠】	上級職	28歳以上 35歳以下	・民間企業または公的機関における職務経験が直近5年中3年以上の者	若干名
一般事務【原子力技術職員】	上級職	40歳以下	・次のいずれかに該当する者 ア 原子力に関する学科(原子力工学、量子エネルギー工学、原子炉工学など)を専攻した者 イ 理学もしくは工学に関する学科を専攻し、民間企業または公的機関における原子力技術に関する職務経験が直近5年中3年以上ある者	若干名
一般事務【埋蔵文化財】	上級職	40歳以下	・次のいずれかに該当する者 ア 考古学の専門課程を専攻した者 イ 埋蔵文化財の発掘調査または整理作業の経験などが直近5年中3年以上ある者	若干名
建築技師	上級職	30歳以下	・次のいずれかに該当する者 ア 一級建築士または二級建築士の資格を有する者 イ 建築士試験の受験資格を有する者 ウ 職種に必要な学科を専攻した者	若干名
	初級職			
土木技師	上級職	30歳以下	・職種に必要な学科を専攻した者	5人程度
	初級職			
土木技師【育成枠】	上級職	27歳以下	・道路管理や補修など、土木関連の業務に関心のある者 ※学科に関する要件はありません。	5人程度
	初級職	23歳以下		
消防職	初級職	25歳以下	・裸眼視力または矯正視力が、両眼で0.7以上、かつ、一眼がそれぞれ0.3以上であること ・自動車運転免許が取得できる色彩識別能力を有すること ・聴力が正常であること ・四肢および内臓などに重大な疾患がなく、心身ともに健康であること	5人程度

※年齢要件は、令和6年4月1日時点における年齢  
 ※職務経験は、令和5年3月31日時点  
 ※卒業見込みは、令和6年3月までに卒業する見込みの者  
 ※大学は、短期大学を除く  
 ※各初級職は各上級職の受験資格を有する者を除く

※**看護師、建築・土木(U/Iターン枠)**は随時募集しています。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。  
 問合せ／本庁総務課人事職員G (内線4522)



▲市ホームページ

一次試験日

9/17 (日)



人と人をつなぐ大切な場所、川内駅。令和6年に開業100周年、新幹線開通20周年を迎えます。今回は、節目を目前に控える川内駅の駅長の思いに寄り添います。

人のとなりに  
 小野田 曜さん

「人のとなりに」とは…  
 文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人となり」をイメージしたコーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当てていくことを目的としています。

「子どもの頃は、ラグビー選手になるのが夢でした」と話すのは、川内駅で駅長を務める小野田曜さん。川内駅の駅長として今年で3年目を迎えます。7歳からラグビーを始め、高校1・2年生では、全国高等学校ラグビーフットボール大会、通称「花園」へ出場した経験もあるスポーツマンです。

入社して気付いた楽しさ  
 ラグビーがつかないで縁

入社のきっかけは、JR九州のラグビー部へ強く勧誘を受けたことだと言う小野田さん。「社会人になってもラグビーを続けなかったら、その勧誘が決め手になりました」と話します。入社してから、「鉄道」のイメージしかなかったJRが、駅ビルの管理や事業開発などさまざまな事業を行っていることを知ったそうです。「入社当初は、門司駅で駅員として3年勤め、その後、社員研修センターへ配属になりました。新規採用職員の配属先の決定などを行う中で、それぞれの事業がどんなことをしているのか分かったり、その幅広さに楽しさを見つけた」と言います。

駅長として

出身は福岡県。初めての県外勤務が川内駅になったそうです。

人をつなぐ

新型コロナウイルス感染症の影響で、さまざまな場面で規制があり、駅も閑散としていました。最近、少しずつ緩和され始めたことで、孫を迎えに来るおじいちゃん・おばあちゃんの様子や家族「全員」で迎えに来る様子を見ることが増えたそうです。「中には、改札口まで歩いていくところを動画で撮ったり、姿



▲ラグビークラブのコーチとして子どもたちに指導する小野田さん

が見えて涙を流したりする人もいます。改めて、「駅って人をつなぐ大切な場所だ」と実感しています」と、当たり前のようにがたさを教えてくれました。

これからの川内駅  
 これからの川内駅の役割について尋ねると、「地域の拠り所になりたい」と話します。「Sプラザさんだいや駅前の広場を活用して、地域の方々と一緒にイベントを開催したり、川内駅着地型のツアーを組んだりなど、鉄道に乗らなくても、川内駅に人が集まる仕組みを作りたい。そして集まった人たちにSNSなどで周知してもらいたい、本市を知ってもらえるような働き掛けを行いたい。何事も、やらないで後悔するより、やってみて次につなげる方がいいでしょ?」と話す小野田さんは、今日もトライアル&エラーの精神で前進するのみです。